

試験結果報告書

生体抗酸化試験

平成30年4月24日

株式会社 ハッピートーク 殿

遠赤外線応用研究会

ご依頼頂きました表題の件につきましてご報告申し上げます

記

報告書 No.218S- 876

本件についてのお問い合わせは、下記にご連絡下さい。

〒542-0081
大阪市中央区南船場4-9-11 順横ビル3F

遠赤外線応用研究会
TEL 06-6251-7619

試験結果報告書

No.218S- 876
平成30年4月24日

株式会社 ハッピートーク 殿



遠赤外線応用研究会
〒542-0081 大阪市中央区南船場4-9-11

試験項目 ゼロ磁場発生シールの貼付使用による生体の抗酸化力向上効果を確認するため、使用前を対照として比較検証する。

試料 ゼロ磁場発生シール

測定条件 1) 測定日時 平成30年4月23日
2) 測定機器 (株)リブアンドラブ社製 唾液酸化還元測定器

試験方法 健康なモデル（女性57才）を被験者とし、測定環境に30分慣らした後、唾液による酸化還元電位を一般医療機器取得の「唾液酸化還元測定器」で測定した。次に、ゼロ磁場発生シールを首2ヶ所、肩2ヶ所、背中2ヶ所の計6ヶ所に貼って使用し、60分後に同様に測定した。

試験結果

生体酸化還元電位測定値

	使用前	使用60分後	増減値
ゼロ磁場発生シール	86	75	-11

(単位:mV)

考察 生体の健康度を示す目安の一つである酸化還元電位は、ゼロ磁場発生シール使用60分後で11低減し、75mVになった。75mVではまだ生体は酸化状態であるが、ゼロ磁場発生シール60分使用は生体の酸化還元電位を低減させる効果があることが分かった。このことから、ゼロ磁場発生シールを長期継続使用することで、生体の酸化還元電位をさらに低減させる可能性が示唆された。
なお、測定は3回ずつ実施し、その平均値とした。

本報告書は供試試料及び試験状況下においてのものであり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

以上